

トロッコ列車「奥出雲おろち号」に乗って 風薫る新緑を満喫!



奥出雲おろち号は、運行開始から20周年を迎えました。
開放された車内を吹き抜ける爽やかな風とともに、豊かな自然美を堪能することができます。車内で食べられる沿線のグルメも楽しみの一つです。
ご家族、ご友人等で、さまざまな機会にご利用ください。



奥出雲おろち号運行情報

JR木次線の木次駅～備後落合駅を運行。
11月25日までの毎週金・土・日曜日と祝日(4/27～5/6、7/20～9/2、10/19～11/25は毎日運行)にJR木次駅から運行します。日曜日や祝日には、始発のみ出雲市駅から延長運行します。



運行カレンダー・時刻表は、「出雲の国・斐伊川サミット」ホームページをご覧ください。
ホームページは左記のQRコードの読み取りまたは「おろち号」で検索してください。

出雲の国・斐伊川サミット

斐伊川・神戸川流域の2市2町(出雲市、雲南市、奥出雲町、飯南町)で構成し、トロッコ列車を生かした広域観光などに取り組んでいます。

おたずね／出雲の国・斐伊川サミット事務局（政策企画課内） ☎21-6612



山陰
まんなか
共和国
中海・宍道湖・大山圏域市長会

中海・宍道湖・大山圏域市長会 通信

中海・宍道湖・大山圏域市長会は、中海と宍道湖沿岸の5市(出雲市、松江市、安来市、米子市、境港市)で構成しています。5市が連携して取り組むことで実現が可能になる事業や、より大きな効果が期待される事業に対して、一体となって取り組んでいます。

平成30年度においては、地方創生をさらに加速するため、次に掲げる『3本の柱』を軸に、圏域が一体となり全国、そして世界を相手にダイナミックに取り組んでいきます。

3本の柱

- 1 力強い圏域産業の国内外への発信
- 2 中海・宍道湖・大山圏域インバウンド機構(圏域DMO)の本格稼働
- 3 圏域のさらなる連携と協働の実現

平成30年度

市長会が取り組む主な事業

産学・医工連携事業の推進強化

医療機関側が求めるものと企業が持つ技術とのマッチングを行い、新たな医療器具などの開発や販路の開拓を支援します。圏域内企業がもつ優れた製品や技術を生かし、新産業の創出をめざします。

インバウンド(訪日外国人旅行)の推進と受入環境の整備

外国人観光客の満足度を高め、圏域へのリピーターを増やすため、「中海・宍道湖・大山圏域DMO(観光推進機構)」を中心に、受入環境の整備を進めていきます。

また、国内向けにも、三大都市圏へのプロモーションに加え、山陽・四国方面からの誘客強化に取り組めます。

おたずね／政策企画課 ☎21-6612

